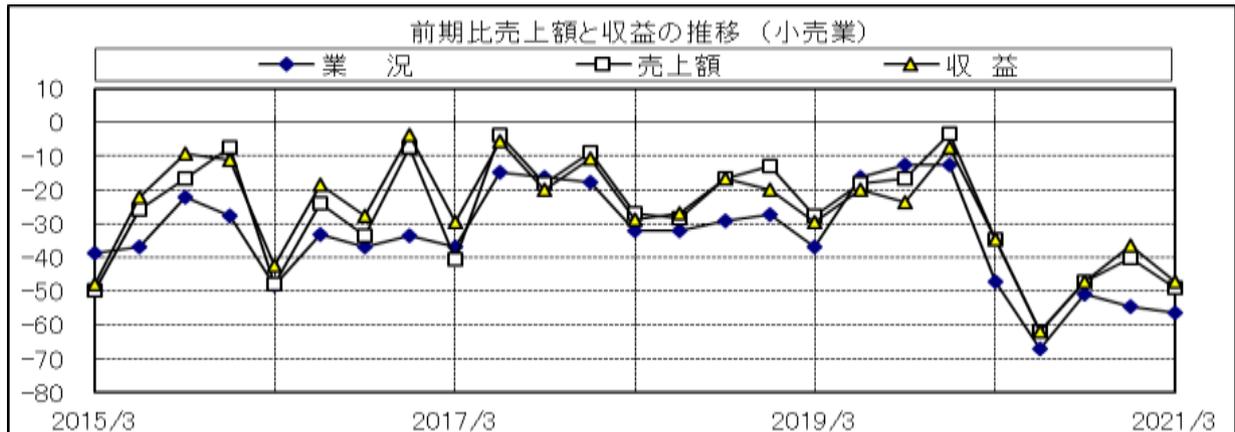


## 小売業 55企業（回答率 100%）の調査結果です

### □ 景況

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
業況	-50.9	-54.5	-56.3	-47.2
売上額	-47.3	-40.1	-49.1	-32.8
収益	-47.3	-36.4	-47.2	-32.7

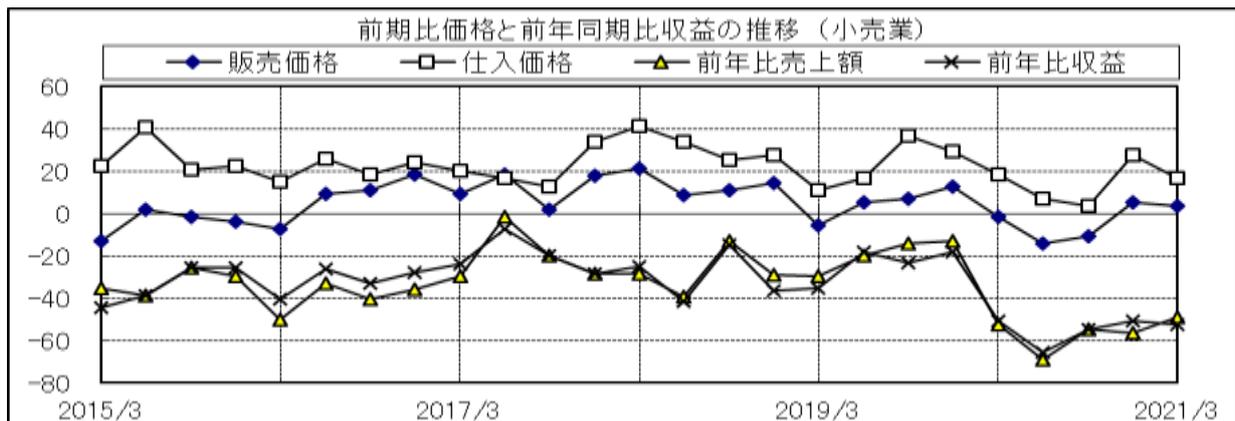
今期の業況判断 D. I. は $\Delta 56.3$  で、前期比 1.8 ポイント下降した。前年( $\Delta 47.3$ )比 9.0 ポイント下降した。地区別の D. I. は高い順に、様似が最も高く、次に浦河、静内、三石、えりもと続き、広尾が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は $\Delta 49.1$  で、前期比 9.0 ポイント下降。収益判断 D. I. は $\Delta 47.2$  で、前期比 10.8 ポイント下降した。



### □ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
販売価格	-10.9	5.4	3.7	12.8
仕入価格	3.6	27.3	16.4	18.2

販売価格判断 D. I. は 3.7 で前期比 1.7 ポイント下降、前年( $\Delta 1.8$ )比 5.5 ポイント上昇した。仕入価格判断 D. I. は 16.4 で前期比 10.9 ポイント下降、前年(18.1)比 1.7 ポイント下降した。業種別の販売価格は、衣料は上昇、食料は下降、家電は横這い。仕入価格は、衣料、食料が下降、家電は横這いとなった。



### □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
残業時間	-10.9	-1.8	-3.7	-5.4
人手状況	-14.6	-18.2	-25.4	-21.8

残業時間判断 D. I. は $\Delta 3.7$  で、前期比 1.9 ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増加した。

人手過不足判断 D. I. は $\Delta 25.4$  で、前期比 7.2 ポイント下降し、人手不足感は強まった。

## □ 設備投資の動き

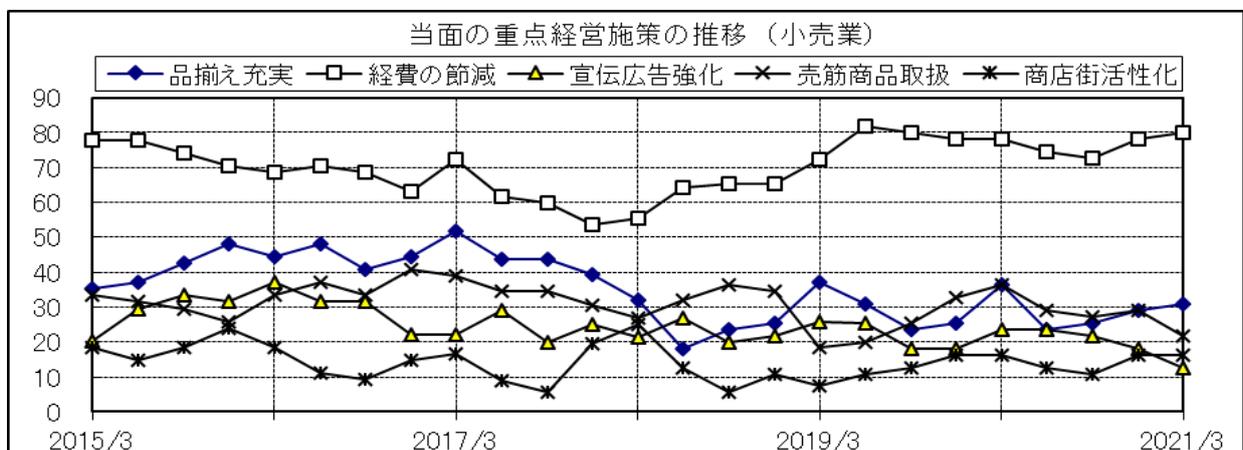
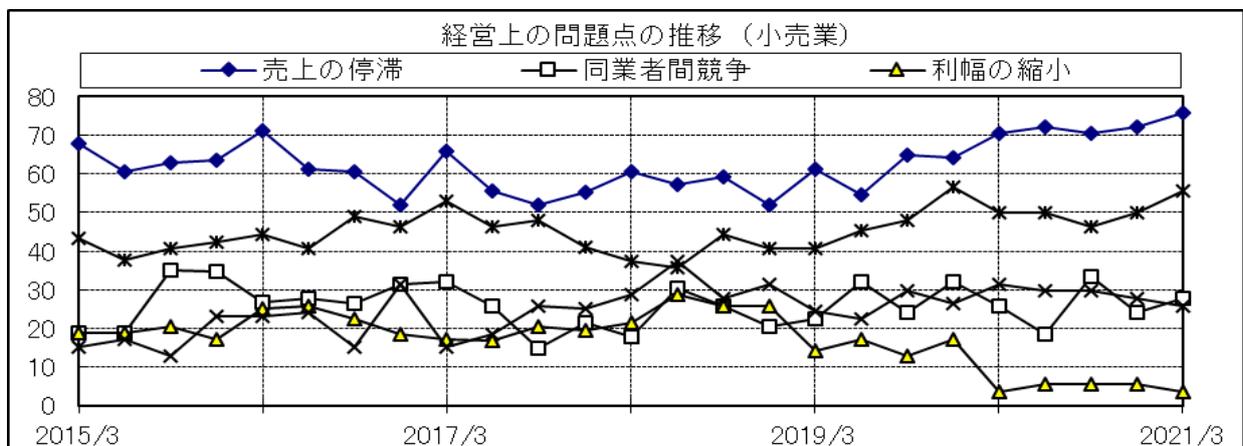
設備投資の充足感を示すD. I. は△16.4で、前期(△12.7)比3.7ポイント下降した。

設備実施企業割合は5.5で、前期(10.9)比5.4ポイント下降した。設備投資は、前期6社に対し3社の実施となった。来期の設備投資は、3社の予定となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が75.9%と最も多く、次に「商圏人口減少」55.6%、「同業者競合」27.8%、「大型店競合」25.9%、「取引先減少」9.3%、「人手不足」・「値上要請」7.4%、「商店街集客力低下」・「地場産業衰退」5.6%、「輸入製品との競合」・「利幅縮小」が3.7%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が80.0%と最も多く、次に「品揃え改善」30.9%、「売れ筋商品取扱い」が21.8%、「商店街活性化」16.4%、「宣伝広告強化」・「仕入先開拓」が12.7%、「人材確保」・「教育訓練強化」が7.3%、「新事業開始」・「店舗設備改装」・「機械化推進」が3.6%となった。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△47.2と、今期比9.1ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D. I. は△32.8と、今期比16.3ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D. I. は△32.7と、今期比14.5ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断D. I. は12.8と、今期比9.1ポイントの上昇を見通している。

予想仕入価格判断D. I. は18.2と、今期比1.8ポイントの上昇を見通している。

## サービス業 30 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

### □ 概 況

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
業 況	-40.0	-50.1	-53.3	-53.4
売上額	-26.6	-50.0	-46.7	-9.9
収 益	-26.7	-50.0	-46.7	-13.3

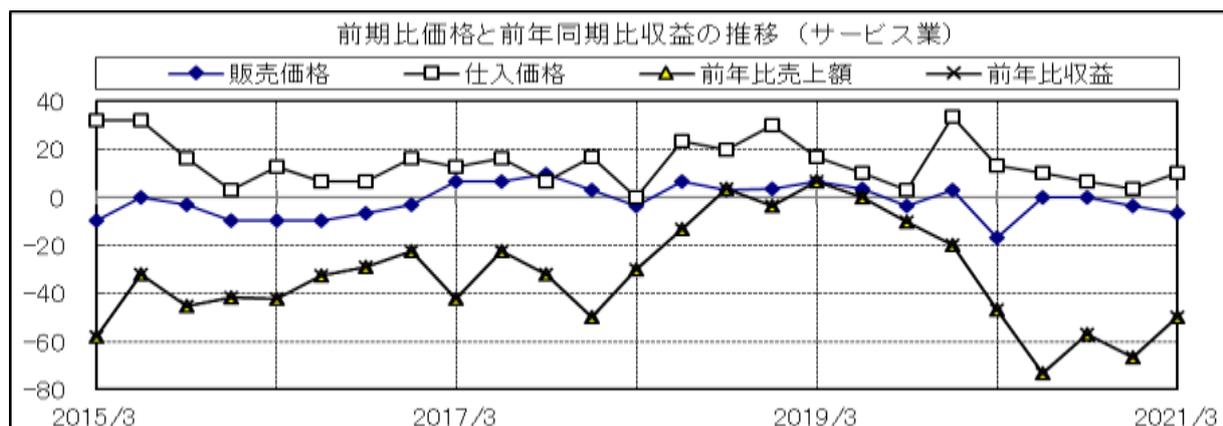
今期の業況判断D. I. は△53.3で、前期比3.2ポイント下降、前年(△51.7)比1.6ポイント下降した。地区別のD. I. は高い順に、静内が最も高く、浦河、三石、えりも、広尾が同率で続き、様似が最も低い水準となった。売上額判断D. I. は△46.7で、前期比3.3ポイント上昇した。収益判断D. I. は△46.7で、前期比3.3ポイント上昇した。



### □ 価格面の動きと前年同期に比した動き

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
料金価格	0.0	-3.3	-6.7	6.7
材料価格	6.7	3.4	10.0	10.0

料金価格判断D. I. は△6.7で前期比3.4ポイント下降した。前年(△16.7)比10.0ポイント上昇した。材料価格判断D. I. は10.0で、前期比6.6ポイント上昇、前年(13.3)比3.3ポイント下降した。業種別の、料金は、旅館業は下降、洗濯理美容業は横ばい、自動車整備業は上昇。材料は、旅館、自動車整備業は上昇、洗濯理美容業は横這いとなった。



### □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
残業時間	-13.4	-13.4	-6.7	-13.4
人手状況	-13.3	-19.9	-13.4	-20.0

残業時間判断D. I. は△6.7で、前期比6.7ポイント上昇し、残業時間が増加したとする企業割合が増加した。

人手過不足判断D. I. は△13.4で、前期比6.5ポイント上昇し、人手不足感は弱まった。

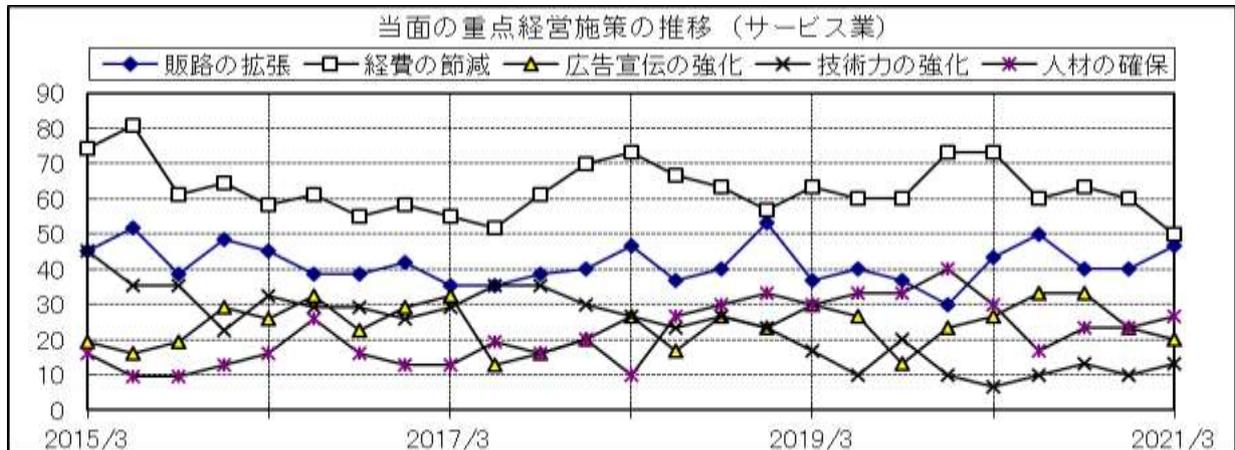
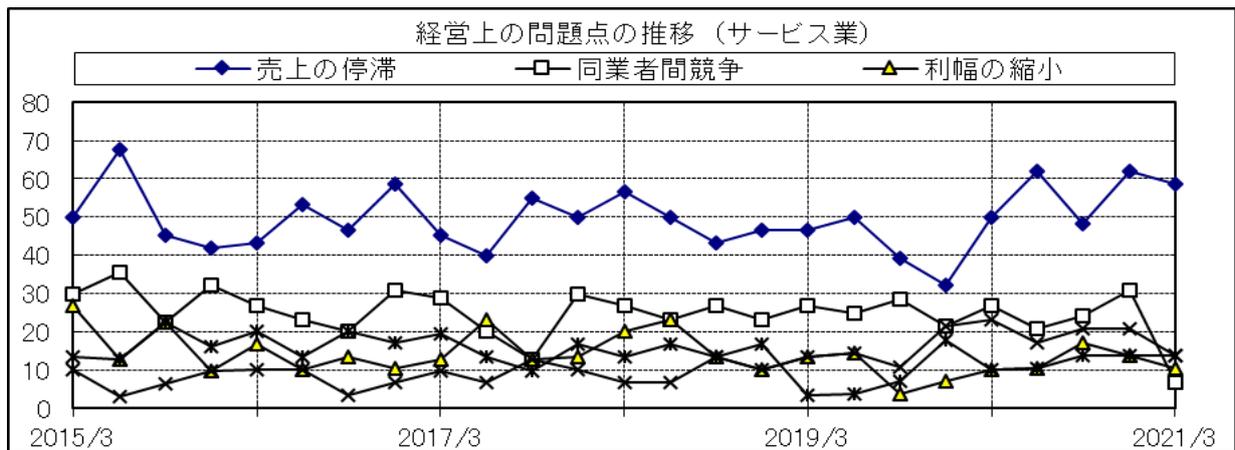
□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD.I.は△6.7で、前期(△3.3)比3.4ポイント下降した。  
 設備投資実施企業割合は16.7で、前期(10.0)比6.7ポイント上昇した。設備投資は、前期3社に対し、5社の実施となった。来期の設備投資は、6社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が58.6%と最も多く、次に「商圏人口減少」55.2%、「人手不足」20.7%、「取引先減少」17.2%、「人件費増加」・「地場産業衰退」が13.8%、「利幅縮小」・「材料価格上昇」が10.3%、「同業者競合」・「料金値下要請」・「諸経費増加」・「店舗設備老朽化」が6.9%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が50.0%と最も多く、次に「販路拡大」46.7%、「人材確保」26.7%、「宣伝広告強化」20.0%、「店舗設備改善」・「技術力強化」13.3%、「提携先確保」・「教育訓練強化」が10.0%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は△53.4と、今期比0.1ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D.I.は△9.9と、今期比36.8ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D.I.は△13.3と、今期比33.4ポイントの上昇を見通している。

予想料金価格判断D.I.は6.7と、今期比13.4ポイントの上昇を見通している。

予想材料価格判断D.I.は10.0と、今期と同水準を見通している。